

FM/AM CDクロックラジオ

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告
電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

主な特長

- CD、ラジオ、プザーの中から、アラーム音を設定することができます。
- あらかじめ設定した世界各地の時間をワンタッチで見ることができます。
 - ワールドタイム機能。
- お気に入りのFM10局、AM5局を記憶しておくことができます。
 - プリセット機能。
- 旅先でも便利なスキャン選局。
- CDプレイモードで、シャッフル演奏、繰り返し演奏、1曲だけでも繰り返し演奏が楽しめます。また、CDでのめざまし設定時もCDプレイモード設定が可能です。
- 振動に強い音飛びガードESP (10秒)搭載。
- ステレオスピーカーを搭載しています。

AM放送の周波数ステップについて

このラジオは、工場出荷時、AMの周波数間隔が9 kHzに設定されています。これは、日本をはじめ世界の大多数の国が9 kHzの周波数ステップで放送を行っているためです。周波数ステップが10 kHzの国でお使いになるときは、周波数ステップを切り換えてご使用ください(裏面の「AM放送の周波数ステップ(間隔)を切り換える」参照)。

地域	周波数ステップ
北米・南米の国々	10 kHz
日本国内・その他の国々	9 kHz

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェック
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ
テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な時期とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 次のような場所に置かないでください。
 - 温度が非常に高い所 (40℃以上) や低い所 (0℃以下)。
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 風呂場など湿気の多い所。
 - 窓を閉め切った自動車内(特に夏季)。
 - ほこりの多い所。
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- ラジオの内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンなどは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカー内部の磁石の影響でカードの磁気に変化し、使えなくなることがあります。
- ヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはテクニカルインフォメーションセンター、お客様ご相談センターに相談してください。

ヘッドホンで聞くときのご注意

付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、いつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

ディスクの取り扱いについて

本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星型、ハート型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

著作権保護技術付音楽ディスクについて

本機は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。

DualDisc ご使用においてのご注意

DualDisc とは DVD 規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。尚、この音楽専用面はコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証致しません。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前に次のことをお調べください。

音が出ない

- 電池が消耗している。
- 乾電池の⊕⊖を正しく入れる。
- ACパワーアダプターをコンセントにしっかり差し込む。
- 音量を調節する。
- スピーカーで聞くときは、ヘッドホンを⊖端子から抜く。

CDが動作しない
・表示窓に「∞」が点灯していたら乾電池を4本とも交換する。
・レーベル面を上にしてCDを正しく入れる。
・CDのふたが閉まっていることを確認する。
・CDの汚れがひどい→クリーニングする。

CDの音がとぶ

- CDの汚れがひどい→クリーニングする。
- レンズの汚れ→クリーニングする。
- 振動のない場所に置く。
- ESP機能を使用する。

予約した時刻になってもCD、ラジオ、アラームが働かない

- 時計を正しい時刻に合わせる。
- アラーム設定時刻を確認する。
- CDが正しく入っているか確認する。
- CDのふたが閉まっていることを確認する。
- VOLUMEの音量を確認する。

時計が初期状態に戻ってしまう

- 記憶させた放送局が消えている
→リチウム電池を交換する。

主な仕様

CDプレーヤー部		
型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム	
チャンネル数	2チャンネル	
ワウフラッター	測定限界以下 (JEITA*)	
周波数特性	20～20,000 Hz ± 1 − 1.5 dB (JEITA)	
ラジオ部		
バンド	周波数範囲	周波数ステップ
FM	76～108 MHz	0.05 MHz
AM	531～1,710 kHz	9 kHz
FM	76～108 MHz	0.1 MHz
AM	530～1,710 kHz	10 kHz

共通部	
時刻表示	12時間表示
スピーカー	直径 約4 cm、8Ω 2個
出力端子	⊖(ヘッドホン)端子 (Ø 3.5 mm ステレオミニジャック)
実用最大出力	200 mW + 200 mW (JEITA)
電源 本体用：	・ DC 6V、単3形アルカリ乾電池 4本 <ul style="list-style-type: none">・ 外部電源DC IN 6V端子、付属のAC/パワーアダプターを接続してAC 100V、50/60 Hzから使用可能
	バックアップ用: DC 3V、リチウム電池 CR2025 1個
最大外形寸法	約166.5×34×173 mm (幅/高さ/奥行き) (ふたを閉めた状態) (JEITA)
質量	約660 g (電池含む)

* JEITA (電子情報技術産業協会) 規格による測定値です。

付属品

ソニーリチウム電池CR2025(1)
ソニー単3形アルカリ乾電池(4)
AC/パワーアダプター(1)
イヤークラッド(2)
ステレオヘッドホン(1)
取扱説明書・保証書(1)
ソニーご相談窓口のご案内(1)

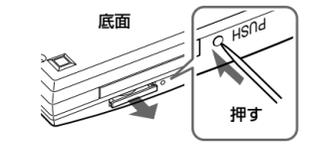
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

電源について

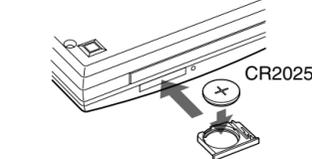
本機は、マンガン乾電池ではご使用になれません。必ずアルカリ乾電池をお使いください。

バックアップ用のリチウム電池を入れる

- 本体の底面を上側にして、先の細いものでリチウム電池入れの右側の穴を押ししてリチウム電池入れを引き出す。



- ⊕を上にしてリチウム電池CR2025を入れ、カチッと音がするところまで押し込む。



ご注意

リチウム電池だけではCDやラジオを聞くことはできません。必ず乾電池またはACパワーアダプターもご使用ください。

ボタン型電池(リチウム電池)についてのご注意
接触不良を防ぐため、使用する前に電池を乾いた布でよくふいてください。

リチウム電池の交換時期

リチウム電池は、時計や記憶してある局のバックアップ用です。乾電池や外部電源を使用していると、そこから電源が供給されます。それらの電源がつかっていないときは約3か月で消耗します。

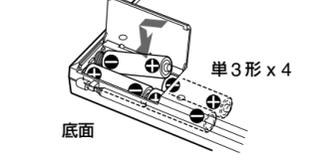
乾電池を交換した後に、時計が初期状態に戻っていたらリチウム電池を交換してください。交換後、時計やプリセットの設定をし直してください。

アルカリ乾電池を入れる

- 電池入れのふたを、押しながら矢印の方向にずらして開ける。



- 正しい向きで、単3形アルカリ乾電池を4本入れる。
 - ⊕、⊖の向きを乾電池ケース内の表示に合わせ、必ず●側から乾電池を入れてください。



電池の持続時間

ソニー単3形 (LR6) アルカリ乾電池使用時 (JEITA*)	
CD (ESP動作時)	約7時間
ラジオ	約17時間

* JEITA (電子情報技術産業協会)規格による測定値です。実際の電池持続時間は使用する機器の状況により変動する可能性があります。

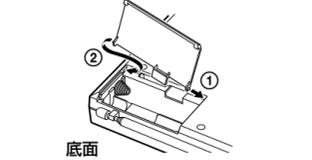
電池の交換時期

乾電池が消耗してくると、表示窓に「∞」が点滅します。完全に消耗すると「∞」が点灯します。その場合は、乾電池を4本とも同じ種類の新しいアルカリ乾電池と交換してください。「∞」表示が点灯になると、すべての操作ができなくなり、時計のみ表示されます。

乾電池を交換したあとは、**CD▶II**またはラジオおやすみタイマーボタンを押して表示窓の「∞」を消してください。

電池入れのふたがはずれたときは

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は、図のように取り付けてください。



コンセントで使うには

付属のAC/パワーアダプターをDC IN 6V (外部電源) 端子につなぎます。アダプターはDC IN 6V端子とコンセントにしっかりと差し込んでください。乾電池が入っていても自動的に外部電源に切り換わります。表示窓が常時照明されますので、それから操作をしてください。



ご注意
・電池の液もれを防ぐために、コンセントでお使いの場合は、電池を取り出しておくことをおすすめします。

- 長い間使わないときは、ACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。このときはDC IN 6V端子からプラグも抜いてください。
- コンセントで本機を使うときも、内蔵のマイコンのバックアップ用としてリチウム電池を入れておいてください。

・停電などでAC/パワーアダプターから電源が供給されなくなった場合は、乾電池から電源が供給されます。

- この製品には、付属のAC/パワーアダプター(極性統一形プラグ・JEITA規格)をご使用ください。上記以外のAC/パワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

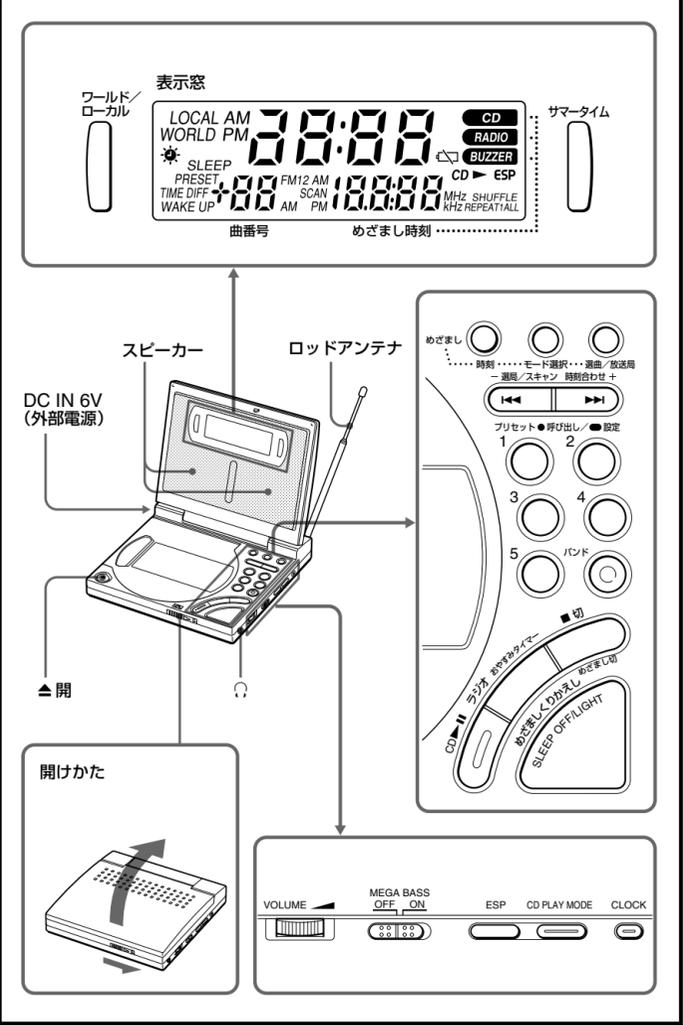


裏面へつづく

ご案内
ソニーではお客様技術相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設しています。お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問合せください。 <p>テクニカルインフォメーションセンター 電話:048-794-5194</p> 受付時間:月～金 午前9時から午後6時まで(祝日、年末年始、弊社休日を除く) ご相談になるときは次のことをお知らせください。
●名 ●ご相談内容:できるだけ詳しく ●お買い上げ年月日

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35	
お問い合わせはおお客様ご相談センターへ	
●ナビダイヤル……………  0570-00-3311 (全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)	受付時間： <p>月～金 9:00～20:00</p>
●携帯電話・PHSでのご利用は………03-5448-3311	土・日・祝日
●Fax ……………0466-31-2595	9:00～17:00

http://www.sony.co.jp/



時計を合わせる

初めて乾電池を入れたときは表示窓に「AM 12:00」が点滅し、「LOCAL」と表示されます。
・時計は12時間表示です。AMは午前、PMは午後です。(AM 12:00=真夜中、PM12:00=正午)

ローカル時刻を合わせる

- ワールド/ローカルボタンを押して、表示窓に「LOCAL」を表示させる。
- CLOCKボタンを2秒以上押したままにする。時刻表示(時)が点滅します。



- 選局/スキャン 時刻合わせの+または−ボタンで「時」を合わせる。+を押すと数字が進み、−を押すと数字が戻ります。ボタンを押し続けると速く変わります。

- 時の設定が終了したらCLOCKボタンを押す。時刻表示(分)が点滅します。